

担当町内会	民生児童委員	住 所	電 話	みまもり員	電 話
梅田町1	★栗田 美智子			今廣 照美	
南桂町、通町1	濱本 友子			今廣 照美	
東久宝町、苅屋町	木下 五十鈴			苅住 仁美	
須賀町	畑中 清信 (岸田 洋子)			丸山 照子	
住吉1・2、松原町	山本 周二			小立 多津子	
北栄町、中・南三穂町	★寺田 健五郎			松本 博子	
住吉3、北桂、北・中久宝	加嶋 さち子			小立 多津子	
船場、住吉4	竹本 孝造			(調整中)	
東・南・西藤井町	山本 毅			奥田 寿美恵	
松江町	濱田 ちあき			石田 香里	
南栄、桜町	市川 孝司			吉岡 千秋	
須先町、北三穂町	林 茂基			松本 博子	
広町、新町、柳町	河野 美千代			石崎 智行	
心斉、通町2	★美藤 賢郎			美藤 みのり	
南久宝町、北宮前町	★都築 さなえ			矢野 彰子	
通町3、梅田町3	★松田 敦子			美藤 みのり	
南宮前町	畑中 清信			今廣 照美	
梅田町2	今廣 勝彦			石田 香里	
若葉町	花川 緑			丸山 照子	
主任児童委員全域	★門田 眞知江				
主任児童委員全域	佐可野 由美江				

令和4年12月1日～新体制になりました。任期3年 ☆新任 ★会長
 地域の独居高齢者の見守りをはじめ児童・生徒・青少年健全育成、障がい者のサポートなど福祉の推進に努めます。
 ご相談事など、守秘義務をもって活動いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

生活の不安や心配、お困りごとはございませんか？



そんな時、まずはお電話を (089)953-1130

専門職が親切にやさしく相談に応じます。

「松山市地域包括支援センター三津浜」 かわさき眼科向かい床屋の西隣



ふれ合いで、笑顔あふれる、三津の街

三津浜の福祉だより

第35号 (令和5年3月31日 発行)

発行所

三津浜地区社会福祉協議会

発行責任者 市川 淳二

松山市住吉2丁目5番25号

三津浜地区社会福祉協議会事務所

三津浜地区人口

令和5年2月1日 現在

人口 4,671人

世帯数 2,547世帯

65歳以上 1,748人 (37.4%)

タイトル写真：松山電気軌道記念碑建立

普段から『危機管理』意識を!!!

三津浜地区社会福祉協議会 会長 市川 淳二

皆様も昨今の世界情勢や、災害の発生時等によく耳にするようになった『危機管理』という言葉。今回はこれまでの経験に基づく持論ではありますが、『危機管理』について述べさせて顶きたいと思ひます。ある事象が発生した後に行うのが「対応」、発生前に行うのが「対策」即ち『危機管理』であると考えています。「そんな事は絶対起こらないから対策等は必要でない」というのではなく、起こりそうもない事が若しも起こった時にどうするかを考えて対策しておく。これが『危機管理』だと考えています。起こりそうもないことに対して事前に構えることは中々難儀なことです、例えば、何千年に一度といわれる東日本大震災級の地震が起こったら、三津の街に住んでいる私達はどうするか？地震による津波、木造家屋の倒壊、火災の発生等が想定されますが、これにどう対処するか？先ずは自分や家族の命を守るために、家を耐震補強したり、避難方法等について考えておくのが『危機管理』ということになります。例えば、皆様が道路を横断する時、左右の安全を確認する習慣もとりもなおさず『危機管理』です。「確認なしに道路を横断するのは危険」を平素から身に付けているということです。この様に事前に考えを巡らす習慣を普段から身に付けておく、それは難しい事ではありません。世の中のあらゆる事象に対し、もしこんな事が生じたらどうするかという問題意識を常に持ち、対策を考えておく習慣をつけておくことが『危機管理』能力を向上させる秘訣ではないかと思ひます。三津浜地区社会福祉協議会でも、多様化している地域福祉メニューに対して『危機管理』意識をもって精一杯活動して参りたいと考えておりますので、皆様におかれましてもなお一層のご支援・ご協力を賜りますよう宜しくお願ひ申し上げます。



共同募金運動にご協力いただきありがとうございました



目標額 671,300円
実績 706,023円

コロナ禍であります、今年度も赤い羽根共同募金に、38町内会と142の企業・団体・個人の皆様からご協力を頂きました。皆様から寄せられた募金は、県、市、三津浜地区内の高齢者福祉、障がい者福祉、児童健全育成などさまざまな福祉活動に有効に使わせて頂きます。



兼清福祉基金助成事業の紹介

松山市立三津浜中学校

平素より地域の皆様には、本校の教育活動にご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。2年生は、1学期に5日間の職場体験学習を行いました。学習では、三津浜地域をはじめ松山市内の各所の事業所等を訪問し、仕事内容を体験させていただきました。学校とは異なる環境の中で、働くことの意義ややりがい、その職業に従事している方々の思いなどを知ることができました。保育園で体験学習を行った生徒は、「子どもたちとたくさん関わることで、私も将来、誰かの役に立てる仕事に就きたいと思いました。これからいろいろなことに頑張っていきたいです。」と、将来に向けてのビジョンを語り、これから学校生活で努力することを明確にすることができました。貴基金からの助成金は、生徒が負担する事業所までの交通費の補助に充てさせていただきました。生徒の健全育成へのお力添えいただき、ありがとうございました。



松山西消防署での体験の様子



夢に向かって挑戦する三津中生の育成を目指して

松山市立三津浜中学校 校長 岡井 博之

昨年4月の異動で、かつて7年間勤めた思い出深い三津浜中学校に、15年ぶりに戻って参りました岡井です。古い歴史と豊かな文化や自然、協力的な地域など、素晴らしい教育環境に恵まれた三津浜の地での勤務に、感謝の日々を送っています。地域の皆様には、常日頃より、本校の教育にご理解とご支援をいただきまして誠にありがとうございます。

令和4年度、本校は、やる気に満ちた生徒を育むべく、教育目標に「夢に向かって挑戦する三津中生の育成」を掲げ、「挑戦！自分と未来は変えられる」を合言葉に、諸活動に取り組んできました。子どもたちは、長引くコロナ禍の中で制約を受けながらも、体育大会や合唱コンクール、職場体験学習や修学旅行など、できる活動に精一杯取り組みました。また、サッカー部・陸上部の四国総体出場や吹奏楽部の四国コンクール出場、女子バスケットボール部の本校史上初の市総体優勝、作文応募での県知事賞や県教育長賞受賞など、対外的な活動でも多くの生徒が活躍しました。中でも、3年ぶりに開催された三津浜花火大会には多くの生徒がボランティアスタッフとして参加させていただき、様々な人と触れ合う中で大きく成長することができました。これもひとえに地域の皆様のお力があったことです。

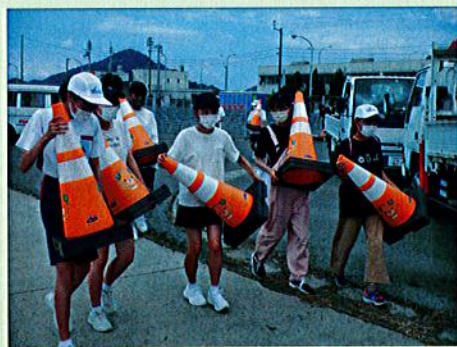
さて、子どもたちが成人して社会で活躍する頃には、今より更に予測困難な時代になっているだろうと言われています。三津浜の子どもたちには、これからの社会がどんなに変化しても、主体的・協働的に課題に挑み、それぞれに思い描く幸せを実現できるようになってほしいと願っています。そのためにも、子どもたちが地域で温かく見守られながら、多様な経験を通してたくましく成長していけますよう、皆様のご理解とご協力をこれからもどうぞよろしくお願いいたします。



松山市立三津浜中学校の行事



7月・三津浜クリーン活動



8月・三津浜花火大会ボランティア



授業風景・タブレットの使い方



10月・体育大会



10月・修学旅行



10月・文化祭

松山市立三津浜小学校の行事



1年生 歩き方教室



5年 集団宿泊活動



商店街を走る!! 校内持久走大会



6年 修学旅行



運動会

三津浜児童クラブの行事



新1年生を迎える会



ベタンクを教わったよ!



敬老の日の集い



松山フライブルグ会講座



みんなで踊りを披露



サロン紹介



いきいきサロン『しおさい苑』 代表者：加嶋 さち子 連絡先

日時：毎週 木・金曜日 午前10時～12時 場所：住吉2丁目 石崎・兼清記念館

コロナ禍になってサロン活動は停止の期間もありましたが最近では感染症対策を徹底して開催しております。体操・脳トレ・手芸などで心身機能維持向上のため皆さんで楽しみながら集まっています。

『なごみの会』 代表者：山下 曙美 連絡先

ウイズコロナ生活も3年になりました。コロナ感染対応策も徐々に緩和されつつある状況下で、いつもの日常「当たりまえの生活」に戻る！と期待を抱きつつ、不安もかすめます。しかし、平時に戻った時、自粛生活の影響で「これまで通りの生活が送れなくなってしまった」状況に陥らない為、サロンでの活動参加は最高の「場」だと思います。「人とのつながり」で豊かなシルバーライフを楽しんでいます。



「スマホ教室」

家族や友人とライン交換出来ました。



「けん玉に挑戦」

心身の機能維持に最適なリハレクレーションです！楽しいよ～♪



三津浜地区敬老会について



本年度も支所に参集して頂いて式典や懇親会を催す従来の敬老会は、3年続けてコロナ感染予防のため取りやめ、満80歳以上で自宅在住者516人の皆様に心ばかりの記念品を配らせて頂きました。

一日も早くコロナが収束し、今年の9月には従前のような敬老会が開催できますことを期待しますとともに、皆様のご健勝を心から祈念申し上げて報告いたします。